



日本共産党 北区議会議員

のの山けん 区政レポート

http://ken-nonoyama.com/ mail@ken-nonoyama.com

No.570 2020.8.26

日本共産党北区議員団

〒114-8508 王子本町1-15-22

ご相談は
お気軽に **090-2156-3510**

PCR 検査

都内で大規模検査に踏み出す自治体広がる

北区でも拡充を

世田谷区が打ち出した新方針

従来型検査の拡大

- 対象 発熱等有症状のある方または濃厚接触者
- 規模 1日600件程度(これまでの2倍)

社会的検査の導入

- 対象 ①介護事業所で働く職員
②保育園・幼稚園で働く職員
③特養等の施設入所予定の方
- 規模 1日1000人程度

新型コロナウイルス拡大を抑えるためにPCR検査の拡充を求める声に押され、都内でも大規模検査に踏み出す自治体が広がっています。(のの山けん)

千代田区が介護職員の定期検査に踏み切ったのに続き、世田谷区も24日、保坂区長が記者会見で、PCR検査の拡充に取り組むことを発表しました。

その内容は、①1日あたりの想定最大検査件数を300件から600件程度へ引き上げる、②従来型のほかに、介護や保育等の接触を避けられない従事者に対して行政検査としての「社会的検査」を実施する、というものです(囲み参照)。

北区でも、こうした事例を参考に、早期に検査拡充に踏み出すべきです。



北区から都知事へ1635筆分 緊急署名を提出

25日、日本共産党東京都委員会はPCR検査の拡充を求める緊急署名を小池都知事宛てに提出しました。北区からは池内さおり前衆院議員、そねはじめ都議、党区議団らが参加、1635筆分を提出しました。

北区財政運営への影響は

北区議会企画総務委員会
のの山けん区議の質疑より

24日、企画総務委員会が開かれ、2020年度都区財政調整方針と北区算定額（当初算定）が示されました。新型コロナで北区の財政運営はどうなるのか。私の質疑で明らかになった現時点での影響についてお知らせします。（のの山けん）

特別区交付金が約40億円の減収？

2020年北区一般会計
当初予算(歳入)の内訳

北区の一般会計予算は約1556億円、歳入のうち約3分の1となる502億円を占めるのが特別区交付金です（グラフ参照）。これは、都と特別区および特別区相互間の財源を調整する制度（都区財政調整）により各区に配分される交付金ですが、財政課長は「コロナの影響をリーマンショック時に引き直すと、今後、特別区交付金の北区算定額に約40億円の影響が出ることも想定される」とのべました。



区が計画している事業の見直しが必要に

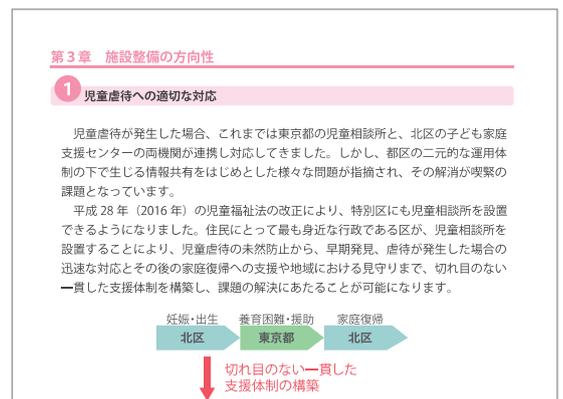


不要不急の事業は見直しに

区はこの3月に111の計画事業を盛り込んだ「北区基本計画2020」を策定しました。しかし、新型コロナによって財政に影響が出ることから、6月には副区長から、不要不急の事業については休止、先送りとするなど見直しを図るよう指示する依命通達が発出されました。一方、区が積み上げている貯金（財政調整基金）の残高は約180億円あります。暮らし、営業を支えるために緊急活用することも必要です。

児童相談所運営の財源は

2016年の児童福祉法改正によって特別区にも児童相談所が設置できるようになり、世田谷、荒川、江戸川の3区が今年度開所、北区も26年度をめどに児童相談所等複合施設の開設をめざしています。東京都は今年度、児相開設・運営経費の財源を見込んで特別区の財源配分割合を0.1%増の55.1%としましたが、今後、都区の協議において配分割合のさらなる引き上げを求めていくよう要望しました。



北区児童相談所等複合施設基本構想(素案)より